



## 研修紹介 生かそう 生徒指導の三機能

子どもの理解研修Ⅴ  
(子どもの理解に基づいた  
予防的生徒指導の実際)

八木小学校  
吉川麻美教諭  
観音中学校  
田頭かおり指導教諭  
堀未奈教諭  
の実践

※平成29年度の授業実践によるもの

この度の豪雨災害で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。暑い夏でした。夏休みの間に、これまでの実践を振り返られた先生方も多いことと思います。

日々の学級経営や教科指導を振り返る時、子供の理解に基づいた予防的生徒指導の視点に立ち、生徒指導の三つの機能（①児童生徒に自己存在感を与えること、②共感的な人間関係を育成すること、③自己決定の場を与えること）が生かされたか、考えてみてはどうでしょうか。

今回は、夏休み明けの授業・学級づくりに役立つ生徒指導の三つの機能を取り入れた実践例を紹介します。

### ①自己存在感

〔一人一人のよさや  
興味関心を生かすこと〕

### ②共感的な人間関係

〔考えを交流し、互いのよさを  
学び合わせること〕

### ③自己決定の場

〔主体的に学ぶことができるよう、  
課題設定や学び方を自ら  
選択させること〕

#### 小学校(算数科)



発表している児童の方に体を向け、最後までしっかりと聴かせる。また、相手の考えを大切に受け止めさせる。



子供の気付きを取り上げながらめあてを示したり、互いの考え方について話し合ったりするなど、児童の言葉をつなぐ。



具体物を用いたり、既習事項の確認をしたりして、解決の方法について自ら見通しを持たせる。

#### 中学校(数学科・外国語科)



個の情報を班で共有し、友達と協力することで、自己の役割を意識しながら課題に取り組ませる。



考えを表現しやすくなるよう相手と目を合わせる・笑顔・声をそろえる等、安心して授業に参加できる雰囲気づくりを行う。



多様な質問を相手に合わせて選ぶことができるよう、ペア活動においては相手を変える場を設定する。

#### 受講者の声

- ・生徒指導の三つの機能を授業のどの場面に取り入れたらよいか具体的に分かりました。
- ・普段の生活の場面から、肯定的に子供と接することが大切だと分かりました。
- ・つながりを大切に、子供が安心して学校生活を送ることができるようにしたいと思いました。